

「中小企業の戦略的知的財産活用に関する調査報告書」及び ガイドブック「企業の強みを活かす～知的財産の力で会社の成長を」について

—中小企業の知財活用の実態を調査／知財活用の入門書となるガイドブックを初めて発行—

東京商工会議所（三村明夫会頭）は、中小企業の戦略的知的財産活用に関する調査研究会（座長：荒井寿光 東商知的財産戦略委員長）において、都内中小製造業者の知的財産の活用に関する実態を把握するための調査の結果をとりまとめました。

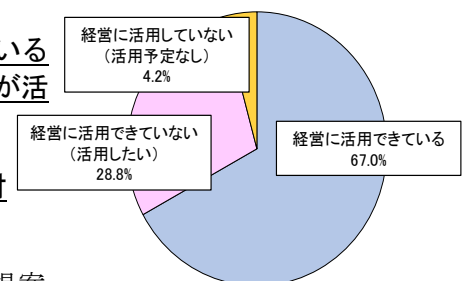
併せて、調査を踏まえ、これから知財活用に取り組もうとする企業経営者を対象にしたガイドブックをはじめて刊行いたしました。

今後ますます国内外の企業との競争激化が予想される中、中小企業は、自らの強みをとらえ、それを知的財産として保護、活用することが求められており、調査を実施し、ガイドブックを発行することとしました。

多くの中小企業は、知的財産と聞くと、特許や商標などの権利をいうものと狭く考える方が多いのが実状ですが、知的財産とは「社内の知恵全般」を指すという考え方に立ち、これらの幅広い活用を考える中で、「知財経営」にステップアップしていただけることを期待しています。

■ 「中小企業の戦略的知的財産活用に関する調査報告書」

- ◆調査期間：平成27年7月1日～17日、都内中小製造業4,632事業者が対象（有効回答数901件、回収率19.5%）
- ◆調査内容：①知財の活用（P16）、②中小企業が望む支援策（P27）、③職務発明（P32）、④営業秘密（P36）
- ◆主なポイント
 - 技術・ノウハウ等（知的財産）の経営への活用認識は、「活用できている企業」は67.0%（H24年調査時62.7%）、「経営に活用できていないが活用したい」企業は28.8%（H24年調査時17.4%）【P18】



- 過去3年間の売上が増加傾向の企業ほど、技術やノウハウなどの知財を経営に活用出来ている割合が高い（77.0%）【P19】

※結果を踏まえ、中小企業の知財経営推進のための支援策の方向性を4つ提案

■ ガイドブック「企業の強みを活かす～知的財産の力で会社の成長を」

- ◆発行月 平成28年2月 ◆発行部数 1万部（A4判 31ページ）
- ◆配布先 当所本支部相談窓口等（無料）
- ◆内容 これから知財活用に取り組もうとする企業経営者に、中小企業が技術・ノウハウ等の強み（知的財産）を経営に活用するための方策を提案する内容（※事例やワークシートを掲載して活用しやすくしています）

- Part 1 経営に知的財産を活用することの5つの効能
- Part 2 会社の強みを洗い出そう ～4つのステップで強みを見える化～
- Part 3 強みを知的財産の「形」にするための3つの方策
- Part 4 知財活用お助け帳



※両冊子とも当所ホームページからダウンロードできます。 <http://www.tokyo-cci.or.jp/page.jsp?id=75100>